

東京愛らんどフェアが 開催されました

「探そう！東京の“感島体験”」と銘打った「東京愛らんどフェア『島じまん2023』」が、5月13日（土）・14日（日）の2日間、港区にある竹芝桟橋・竹芝客船ターミナル及び東京ポートシティ竹芝で開催されました。

「島じまん」とは、東京の島々の特産品の販売や特設ステージでの郷土芸能の披露など企画が盛りだくさんの伊豆諸島・小笠原諸島の魅力発信イベントです。2年に一度開催されていましたが、コロナの影響により、今回は5年ぶりの開催となりました。



▲特産品販売ブースの様子

会場に設けられたブースでは、島の食材を使用したご当地料理の提供や特産品の展示・販売が行われ、これらを求める多くの人々の行列ができていました。メダイ、マカジキ、岩のりをネタにした八丈島の島寿司は、開会前から長蛇の列ができるほどの人気ぶりです。その場で舌鼓を打つ来場者が多く見られました。

さらに、多摩地域の特産品や東日本大震災の復興応援として福島県の特産品の販売等もあり、こちらも大人気でした。

会場内に設置された特設ステージでは、2日間途切れることなく、各島の伝統的な踊りなどの郷土芸能が披露され、式根島出身アーティスト宮川愛李さんのスペシャルライブ、お笑いコンビ「ココリコ」の遠藤章造さんをMCに、9町村の島民代表を迎えたスペシャルライブ「島トーク」などが開催されました。

郷土芸能の披露では、太鼓のリズムや演舞者のパフォーマンスなどでステージと観客が一体と



なって盛り上がり、二つのスペシャルライブでは多くの観客を楽しませていました。

他にも、大島の椿の花びら染め体験、新島・式根島の貝殻アクセサリー制作体験、三宅島のボルドリング体験や三宅島をドローンから撮影した映像が楽しめるVR体験コーナー、八丈島の黄八丈織物体験・小物作りや八丈島の植物を使ったハワイアンレイメイキング、戦前から小笠原に伝わる固有種「タコノキ」の葉を使用した伝統工芸品など、様々な体験イベントもあり、参加した来場者は熱心に取り組んでいました。



▲特設ステージでの郷土芸能の披露

当日はあいにくの雨でしたが、2日間で延べ10万人を超える方々が来場し、大盛況の中で幕を閉じました。

皆さんは、東京島しょ地域には9町村あり、一般住民が住む有人島は、11島あることをご存じでしょうか。東京から各島へのアクセスは、竹芝桟橋発の船便や調布飛行場からの航空便（一部の島にはなし）などがあります。

それぞれの個性豊かな島の魅力を発見する素敵な旅に、あなたも出かけてみませんか。



わたげ探偵!! こんなの調べてみました!

～ 島に行ってみよう 神津島 ～ ◎不定期掲載

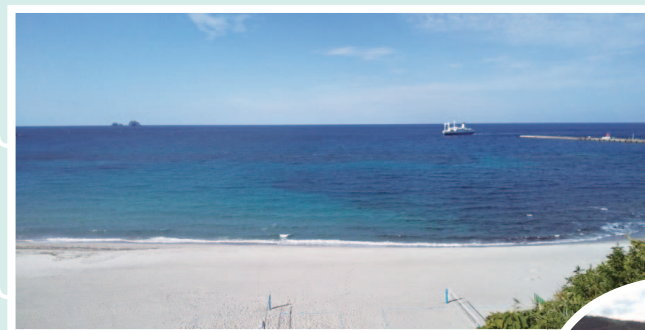
多摩・島しょ地域には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ！今回は **神津島** を旅してみよう♪どんなスポットがあるかな？

◆神津島への アクセス

《航路》竹芝桟橋から・高速ジェット船で約3時間45分
・大型客船で約12時間
《空路》調布飛行場から約45分



前浜海岸



白い砂浜が広がる前浜海岸。ここは島の中心地から近く、アクセスが抜群なんだ。昼間だけでなく、夕方には美しい夕日も楽しめるよ。

2013年の国民体育大会ではビーチバレーの会場にもなったんだよ。



今もビーチバレーコートがあるよ!



えんま洞

「神が集いし島」と言われる神津島には多くの史跡が残っているよ。

ここ「えんま洞」では、にっこりと微笑むえんま様が祀られているよ。



神津島村郷土資料館



神津島の歴史を詳しく知りたい時は、神津島村郷土資料館に行ってみよう!

横道展望地



ここからは、前浜海岸を眺めることができるよ。他にも、ありま展望台や三浦湾展望台など、神津島には多くの展望台があるんだ。きれいな景色を眺めてリラックスができるね。

◆最新情報は各ホームページなどでご確認ください。